



中村匡志 議員  
(創政会)

**問** 市の農地の約5分の1が耕作放棄地

市内の耕作放棄地は201ヘクタールにのぼり深刻な問題であるが、原因は。「相続法特区」が解消の切り札となると考えるが、内閣府への申請の考えは。農地の集約と「担い手」育成（特に新規就農と「なんさいふあー夢」）、先端技術導入の状況は。

**答** 最良の農地の保全方法を考えていきたい

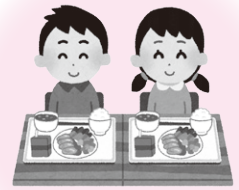
特区申請や先端技術の導入については、先進自治体の取り組みや有効性を注視したい。農地の集約は埼玉県農林公社による利用集積を進め、農業生産法人による作付けが進んでいる。担い手の育成については農業講演会の実施等により新規就農へ繋げていきたい。

**問** 農業政策と教育・社会福祉政策の連携を

白岡産の農作物はとても美味しいが、学校給食における各産品の使用割合は。また、給食におけるさらなる地産地消の推進は可能か。しらか味彩センターから生ずるフードロス解消のため、フードバンクや子ども食堂と連携してはどうか。

**答** 市内農産物を様々な分野で活用していく

学校給食で提供している全ての食材に対する白岡産の割合は、2%から6%程度である。今後も白岡の豊かな自然の中で育まれた食材をより多く取り入れていく。フードロス解消に向け、堆肥化の検討や出荷者による子ども食堂への寄付の協力を働きかけていく。



米は白岡産100%！



江原浩之 議員  
(無所属)

**問** 自然災害の備えは

避難所に設置される防災備蓄品は、近年変化があると思われるが、現在当市の備蓄品は、どのような状況か。次に、甚大な自然災害に備え、今後必要であると思われる備蓄品をどのように考えているのか。

**答** 液体ミルクと可搬式蓄電池を購入する

非常食や飲料水などの食糧、毛布や肌着セットなどの生活必需品、救急箱やマスクなどの医薬品、ブルーシートやワンタッチパーティションなどの防災資機材を備蓄している。今後は断水や停電を想定した備蓄品として、液体ミルクや可搬式蓄電池を購入する。

**問** 水害対策を

白岡駅東部中央土地区画整理事業区域内の調整池に、里団地の雨水を、流入できないか。次に、白岡駅東口付近の白岡駅東部中央土地区画整理事業区域外、特に、里団地周辺の雨水整備をする必要があるが、どのような考えか。

**答** 里団地周辺の雨水幹線整備を進める

区域外からの流入は、地形的課題などもあり難しい。今後も周辺地域や放流先水路に配慮した排水ポンプの運転など検討していく。里団地周辺の雨水整備は、現在進めている西地区の雨水工事の見通しがついた段階で、詳細設計を行い工区割りをし進めていく。



台風19号翌日の調整池の様子